

newsletter vol.02 fun NOTE

Arc Communications Inc.



Greetings

初年度を黒字で締め括ることができました。これもひとえに皆さま方のご支援の賜物と、心から感謝申し上げます。さて2年目は、私のキャパシティを超えて、会社を大きく成長させることが目標です。まず事業部制を導入し、翻訳・ローカリゼーション事業には本田和利、Web・クロスメディア企画制作事業には佐藤佳弘、人材派遣・紹介事業には渡邊宏がリーダーに就任いたしました。またスタッフが自発的に、インタラクティブに活動できるよう、外部講師を招き組織改革を行っています。

これまで以上に「楽しく正しく新しく」皆さまとお仕事ができるように力を注ぐつもりです。

株式会社 アークコミュニケーションズ
代表取締役 大里真理子



Our Projects

翻訳

日本市場情報を素早くキャッチ!

大手メーカーA社のイントラネットに掲載するニュースの英訳を担当しています。A社では社内の外国人スタッフに対し、日本で報道された通信事業に関するニュースを翌日には配信。アークコミュニケーションズでは毎日ネイティブ翻訳者が短納期での英訳サービスを提供、バックアップ態勢も準備しました。

ファシリテーション

ローカリゼーションは、プロジェクトマネージャの指揮次第で成果に大きく差が出ます。翻訳チームでは、問題解決に有効なファシリテーション能力を身につけるべく、8月より森時彦氏(株式会社チェンジ・マネジメント・コンサルティング)を講師にお迎えし、ファシリテーション研修を行っています。仕事に取り組む顔つきや会議に臨む姿勢が変わるなど、全員がローカリゼーションのプロフェッショナルを目指して日々切磋琢磨しています。

人材派遣

『埼京線ジャック』

埼京線の女性専用車両が、派遣サイト『はたらこねっと』の広告で埋めつくされました(8/28～10/8、稼働電車40本中10本の車両限定)。この広告にアーク派遣チームも賛同し、「中吊り広告」を出しました。女性専用車両とは

いえ朝の出勤時間以外は男性も乗れますので、気付いた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今後もアクティブな活動を続けていきますので、どうぞお楽しみに。



「EAP(Employee Assistance Program=従業員支援プログラム)」を派遣スタッフにも導入

クライアント先で働く登録派遣スタッフへの福利厚生の一環として、外部機関の相談サービスを導入しました。心の悩み、職場での不満、職場の人間関係、家庭内のトラブルなど、派遣スタッフも日々、悩み、不安を抱えています。他人には言えないこと、派遣だから遠慮して話せないことなどを、専門の弁護士やカウンセラーによる24時間電話相談やメールカウンセリングを匿名で受けることができます。

このサービスの導入によって、派遣スタッフが心の健康管理にも関心を持ち、生き生きと仕事に取り組むことができるようになればと考えています。

Web

ちょっとできない経験をしています!

～レスキュープロジェクト～

このところ、Webチームはあまり聞いたことのないプロジェクトを経験しています。しかも1件ではなく複数。私たちはこれを「レスキュープロジェクト」と称しています。ひとことでいうと、「他社が完遂できなかったサイト構築案件をリセットして作り直す」というものです。これらはクライアントからのご要望で取り組んでいるのですが、結果として、他社がどこでクライアントとの意思の疎通を欠いたのか、なぜクライアント要望をかなえられなかったのか、などがつぶさにわかり、非常に学ぶことの多いプロジェクトです。

「人のふり見て我がふり直せ」……。この貴重な経験を今後にかかしたいと思う今日この頃です。



▲ 2005.10-2006.9のサイト構築数は約30サイトでした。
ありがとうございました!



News

『マネジメント「入門」』がAmazonの第1位に

ファーストプレス発刊、当社翻訳・監訳の『ハーバード流マネジメント「入門」』が7/19にAmazonトップセラー100の和書第1位になりました。

前作の『リーダーシップ「入門」』が2位だった悔しさ(?)をばねにし、地道な口コミ活動が功を奏しました。

さて読書の秋。11月中旬にはダイヤモンド社から『企業プログ戦略(仮)』、来年にはファーストプレス社から『ハーバード流ヒューマンリソースマネジメント「入門」(仮)』が発刊されますので、こちらもお楽しみに。

これらの本を抽選で10名様にプレゼントします。

<http://www.arc-c.jp/present2/>からご応募ください。(11/5締め切り)



アークブランディング会議

「アークをいい会社になりたい！」という意欲に満ちあふれたスタッフが各部門から集まり、週に1回1時間のミーティングを重ねています。「会社ができる社会貢献とは？社員のシアワセとは？自分にとってのシアワセは？」など様々な切り口でプレストをし、時には宿題や発表もありますが、通常業務を越えての意見交換はたいへん貴重な楽しい時間です。決まったことは即実行に移すことも、試行してやめることも！でも、この会議が発端でオフィス環境が良くなったことは確か。何よりもメンバーが楽しみにしているのは、実は「お菓子付きの会議」ということ。それぞれが宿題以上に(?)力を入れて、老舗の銘菓や地元のとおきをおきを嬉々として購入してきては披露。これだけはずっと続けていきたい…と密かに思っています。

パートナー同伴のパーティを開催

ウェブディレクター高澤さんの(かなり遅ればせながらの)結婚祝いを兼ねたパーティを開催しました。既婚者にはパートナーも同伴出席していただき、それぞれの紹介タイムや珍景品を競い合うピンゴゲームありの楽しい時間を過ごしました。

健康に仕事ができるのは家族のおかげですし、いつも支えてくださっているパートナーにとっては「いったいどんな会社でどんな人たちと働いているのだろう？」という謎を解く(?)良い機会になりました。

次回は、お子さんたちによる「パパとママの会社を訪問デー」なども計画中です。



アークコミュニケーションズ5つのBlog

アークコミュニケーションズでは下記のブログが走っています。ぜひ、ご笑読下さい。

社長ブログ『マリコ駆ける』

<http://blogs.itmedia.co.jp/arc/>

経営管理室ブログ『Arc Style』

<http://arc.typepad.jp/style/>

翻訳チームブログ『特攻野郎翻訳チーム』

<http://arc.typepad.jp/honyaku/>

人材派遣チームブログ『本日も晴天なり』

<http://arc.typepad.jp/jinzai/>

Webチームブログ『Arc Web Family』

<http://arc.typepad.jp/web/>



Editor's Note

いつのまにか金木犀の香りにつつまれ、爽やかな秋の気配を感じられる頃になりました。1歳の誕生日を過ぎ、よちよち歩きながらもますます楽しく元気な会社の様子を盛りこんだ『fun NOTE』2号をお届けいたします。

今回はスタッフ全員が「お習字」に挑戦してみました。いずれも力作ぞろい、文章以上に「字は体を表す？」かも知れません。とくにご覧ください。(編集人)



Arc Communications Sept. 25, 2006

お題 「わたしのひと文字」

颯

立+風の会意文字。さっとなつた風の様子を表す擬態語です。そこから、きびきびしたさま、という意味もあります。母の名前の一部なので、小さい頃からなんとなく意識していた、好きな字です。「颯爽」という言葉も好きで、そんな人に憧れます……。 (石本美穂)

遊

歴史家ホイジンガは、著書『ホモ・ルーデンス』（遊戯人）で遊びの復権をめざした。「遊び」は純粹で、それ自体が目的にならねばならない。今年の夏は沖縄でシーカヤックを満喫したので、冬は厳しい登山をするぞ！でも、その前にダイエットしないと……。 (高澤研介)

楽

昔から心の柱となっている言葉。なんでも楽しむこと。自分でコントロールできることで楽しめないことはしません。逆境に対しては幸いなことに「自動的に楽観的」思考回路になります。(例) 仕事が忙しくてご飯抜き→イライラ→でも痩せられてラッキー♪(井上由佳)

変

この文字は私の憧れの存在です。天才もこの範疇に入ると思っています。私は元来凡人であり、特殊な能力もありません。だからこの文字に憧れ、そういう人物を尊敬しています。いつの日か、私もこう呼ばれたいものです。(田中政幸)

神

大里家は室町時代から続いた神社の家系です。たとえ、さかきを正しくまわせなくても、結婚式をチャペルであげようとも、やおよるずの神は私を見捨てないでしょう。苦しくなったときの神頼み、奇跡を起こす神風到来、会社はいつでも万全です。(大里真理子)

一

「一期一会」とか「唯一」とか「初めの一步」の「一」です。人や仕事、その他の出会い、そのときだけの一生に一度の機会を大切に、一步一步成長していきたいといつも思っています。そう思いつつ結構大切にしていなかったこと多いなあ……。反省、反省。(馬場浩昭)

研

自分の名前を縦に書いてみます。中心に一本まっすぐな線が見える気がします。それを密かに気に入っています。「研」が「健」ならそうはならないでしょう。だから研は私の文字なのです。これだけは誕生日も血液型も同じ某先輩ディレクターにも、譲るわけにはいきません。(小野研太郎)

嗜

正確には「嗜む」とかなんですが、日本語として大変優れた言葉であると思います。「好み」であるとか「つつしみ」「心得」といった意味があるようですが、なんと言うかわびのある表現というのはたまらんです。何事も嗜む程度にしたいと思います。(星享秀)

藤

私の旧姓は城下と書いて「じょうした」と読みます。非常に読みにくい名前だった為、結婚するなら良くある苗字の人がいいなと思っていました。特に憧れていたのは「藤」のつく苗字。そして、縁あった人は加藤さん。いえいえ、決して名前だけで選んだわけではありませんよ(笑)(加藤満)

忘

とある著名人が身内の不幸の談話で、「その時の記憶が全くないのです。だから立ち直れたのでは？ 忘れることが防衛なのです」とあった。日々失敗の連続だが、忘れるお陰で病気になる。心の病を持つ人が多い世の中だが、快復の秘訣はこれかも知れない。(本田和利)

志

常に志を持って生きることを昔から心がけています。とても重要な事ですが、忙しければ忙しい程忘れがちな今日この頃。なんて真面目なことを言っておりますが、ただ単に昔から大好きなアーティストの名前の一文字というオチ。(川名里枝)

敦

「漢字ではどう書くのですか？」という質問が苦手です。「中国の敦煌のトンです」「は？」「え～と、左側は小さなナベブタの下に口を書いて、その下に子供の子を書いて、右側は……」ま、やっかいなヤツほど愛着を持ってしまふことはいなめませんが…。(森敦子)

道

「大道」。小学校卒業記念の寄せ書きに、恩師から贈られた文字。「たとえちっぽけな夢のためであっても、ひたむきに汗を流すことを忘れずに！」という言葉をそえて……。ですが最近よく出るのは「冷や汗」です。清らかな汗を取りもどすため、マラソンを始めました。(菅野宣章)

ゐ

現代人には読めないでしょう。今の50音表にも記載されていないかも？「ぬ」になれなくて「み」の書き間違い？漢字にすると「𠂔」になるのかな？漢字になっても出来さこない。私を現す文字ですネ。これは「ゐ」と読みます。読めん！！(山本康之)

ふ

座右の銘は「ふ」です…(嘘)。「ふ」を変換すると「不」「負」「腐」……よい意味のことは並びません。でも、ひらがなの「ふ」って、よくみると笑っている感じがします。逆境の中でも笑っている…漢を感じます。だから、「ふ」が好き。こじつけてみました。(佐藤佳弘)

夏

僕は夏が大好きです。夏の青い空を見ていると無性に海へ行きたくなります。突き刺すような日差しはたしかに暑いですが、苦になるところがワクワクしてきます。学生時代の夏休みを連想させるからだと思います。(渡邊宏)